

植物多様性センターの「春は紫」

雑木林の芽吹きを「紫色に煙る」と表現することもあります。地面から芽が出る時、植物がこんなに鮮やかな紫色をしているのをご存じですか？紫外線や低温から生まれたたての新芽を守るため、抗酸化物質のアントシアニンを生成するといわれていますが、アザミやヒイラギソウのような紫色の花を咲かせるものならいざ知らず、ヤマシャクヤクやトモエソウまで紫色なのは不思議ですね。



ヒイラギソウ: 驚くほど鮮やかな紫色 葉はしっかり対生している



ヤマシャクヤク: 花は純白なのに産毛の生えた赤紫の太い芽



トモエソウ: 花は黄色だが、紫紅色のとがった芽をつける



タイアザミ: 展葉しても紫黒色のまま、しばらくして緑色に変わる